



神学部・神学研究科同志社大学 / 一神教学際研究センター(CISMOR) 共催

Jews and Christians, Jews and Muslims:
The interactions of these religions in historical and cultural perspective
ユダヤ教徒、キリスト教徒、ムスリムの相互作用 — 歴史的、文化的見地から

公開講演会

The Life of the Man Abraham as Reflected in Ancient Jewish, Christian and Moslem Literature

人間アブラハムの生涯—ラビ・ユダヤ教、キリスト教、イスラームにおいて

< 講 師 >

Prof. Avigdor Shinan アヴィグドール・シンアン教授
(ヘブライ大学 ヘブライ文学部)

< 逐次通訳 >

勝又 悦子 (同志社大学 神学部 助教)

2011年1月23日(日) 13:30—15:30

同志社大学 今出川キャンパス

神学館 3F チャペル

入場無料・事前申込不要

*お問い合わせ

同志社大学 神学部・神学研究科事務室 TEL. 075-251-3332

【 プログラム 】

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1) 開会挨拶／講師紹介 | 13 : 30－13 : 35 | 小原 克博 |
| 2) 講 演 | 13 : 35－15 : 00 | アヴィグドール・シンアン |
| 3) 質疑応答 | 15 : 00－15 : 30 | |

司会：小原 克博（同志社大学神学部・神学研究科教授／CISMOR センター長）

講師：アヴィグドール・シンアン（ヘブライ大学 ヘブライ文学部教授）

【 講師紹介 】

■ アヴィグドール・シンアン Avigdor Shinan

1946年ブラハ生まれ。学士、修士、Ph. D. をヘブライ大学で取得。1986年よりエルサレム・ヘブライ大学ヘブライ文学部で教鞭をとり、現在ヘブライ文学部教授。ヘブライ文学部長、学生部長も歴任。ラビ・ユダヤ教時代のユダヤ文学研究を牽引する第一人者である。イエール大学、ユダヤ教神学大学（JTS）イエシバ大学での客員教授の他、ヘルシンキ大学、キリスト教神学大学（CTU,テキサス）、ロシア州立大学（MGU）等、世界中の大学研究機関で活躍している。

ミドラシュ（ユダヤ教聖書解釈）、アガダー文学、またアラム語訳聖書であるタルグム、についての多数の著書がある。代表的な著書は以下の通り；

- The Biblical Story as Reflected in its Aramaic Translations (in Hebrew). Tel Aviv: Hakkibutz Hameuchad, 1993;
(アラム語訳聖書における聖書物語)
- The Embroidered Targum: the Aggadah in Targum Pseudo-Jonathan to the Pentateuch (in Hebrew). Jerusalem: Magnes Press, 1992;
(タルグムの脚色：偽ヨナタンタルグムのアガダー)
- The World of the Aggadah (Broadcast University Series). Tel-Aviv: Publication of the Ministry of Defense, 1990
(Original Hebrew edition, 1987; Russian translation, 1990);
(アガダーの世界)
- Midrash Shemot Rabbah, Chapters I-XIV. A Critical Edition Based on a Jerusalem Manuscript, with Variants, Commentary, and Introduction (in Hebrew). Jerusalem/Tel Aviv: Dvir Publishing House, 1984;
(出エジプト記ラッパ校訂版)
- The Book of Genesis in the Bible, the Old Versions and the Ancient Jewish Literature (Monograph Series, co-authored with Y. Zakovitch, in Hebrew). Five Volumes, 1983-1992;
(創世記：古代版と古代ユダヤ文学、全5巻)

【 シンアン教授 発表概要 】

神学研究科 教授 アダ・タガー・コヘン
神 学 部 助教 勝又 悦子

シンアン教授は、今回の会議において公開講演会及び非公開ワークショップの二つのセッションで発表されます。各会の概要は以下の通りです。

公開講演会

“The Life of the Man Abraham as Reflected in Ancient Jewish, Christian and Moslem Literature”

(人間アブラハムの生涯ーラビ・ユダヤ教、キリスト教、イスラームにおいて)

古代ユダヤ文学（ミシュナとトセフタ）、新約聖書、クルアーンにおいて、アブラハムの生涯がいかに描かれているかを紹介する。アブラハムの生涯の初期についての物語、及びその死についての物語に注目し、キリスト教、イスラームが、ユダヤ文書を土台にしていかにこれらの物語を構成しているか、その方法を比較する。

非公開ワークショップ

“The Story about Abraham and Sarah in Egypt (Genesis 12) as Retold in Ancient Jewish Literature”

(古代ユダヤ文学におけるアブラハムとサラの物語[創世記 12 章])

古代ユダヤ教時代の歴史家ヨセフス・フラヴィウスの著作や、他の古代ユダヤ文学で、創世記 12 章がいかに語られているかを論じる。